

湖北広域行政事務センター

新一般廃棄物処理施設整備運営事業

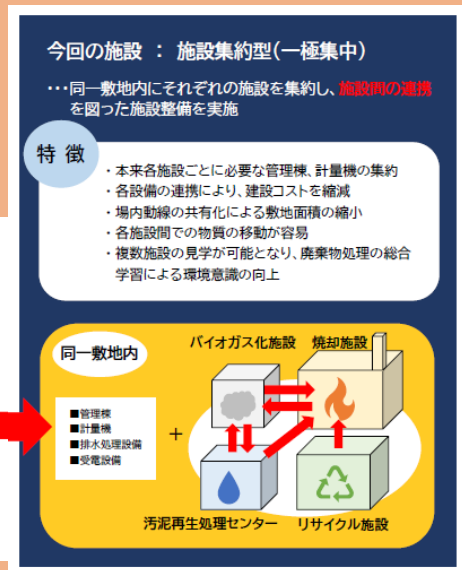
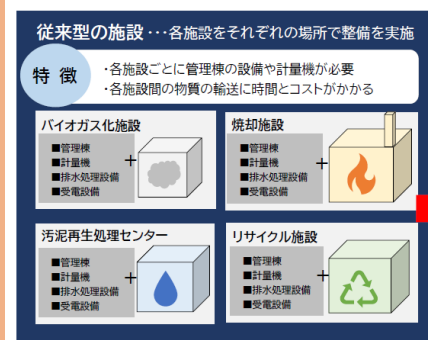
新施設整備事業について②

<新施設の特徴>

新しい施設の特徴は次のとおりです。

1 施設集約型(一極集中)

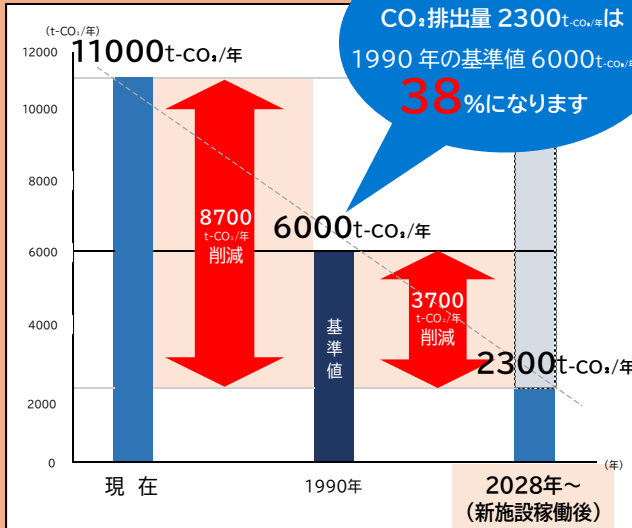
従来型の各施設単独では整備できなかった各施設のそれぞれの良いところを活かし、よりよいシステム連携によって、効率的な施設整備・運営とコスト削減につなげます。**一極集中の利点を生かし、最大限の効果を発揮し、持続可能な施設整備を目指しています。**



2 CO₂削減について

新たに整備する施設は、同一敷地内に一括事業として整備を行います。熱回収施設はバイオガス化施設を併設することにより、生ごみ等を発酵させ、メタンガスとしてより効率よくエネルギーを回収し、**CO₂の大幅な削減、環境負荷の低減**を図ります。

▼現在～新施設稼働後のCO₂の推移



3 利活用計画について

ごみの焼却により発生する熱及びバイオガスは主に**発電**に利用します。電力は施設内での利用を優先し、余剰電力分は売電により収益を運営費に充当します。将来は他の公共施設等への供給、非常時の電力供給等**次世代へつなげる利活用**をします。発電以外にも積極的に温水や蒸気等の熱回収を行い、場内利用(給湯等)や屋根融雪等に活用します。

